

高校演劇向上へ

指導者招きスクール

来月発表公演

鳥取県内の高校生たち、会館で始まった。県内にトップレベルの演劇指導を体験してもらおう「高校生のための演劇スクール」(県文化振興財団主催)が26日、日の来年1月11日に発表公演を行う。



■ 26日、鳥取市のとりぎん文化会館
畑沢さん(右)の演技指導を受ける生徒たち

専門的なワークショップを通して高校演劇のレベル向上を目指す。2012年から毎年開催。今年は県内11校の演劇部から28人が参加した。

講師は、青森県立高校の教諭で、劇作家兼演出家として活動する畑沢聖悟さん(51)。最終日には畑沢さんが作・演出を手掛けた戯曲「親の顔が見たい」を同会館で公演する。

同作品は、自殺した生徒の遺書でいじめの加害者と名指された生徒の親たちの様子を描いたシリアス作品。この日は劇中に登場する13人の配役を決めるキャストオーディションが行われ、生徒たちは希望の役を勝ち取るため、感情を込めて台本を読んだ。畑沢さんは「力量のある生徒ばかり。3日間、劇を完成させるの

は本来とても難しいが、飲み込みが早いのだ。

で期待できると評価。教え子を自殺で失った若い女性教師役を希望通り射止めた鳥取商業高2年の灘美衣奈さんは「要求に応えられるよう一生懸命練習したい」と意気込んでいた。



各地区の調査結果などを発表する学生たち＝25日、倉吉市福庭の鳥取看護大

住環境で健康知る

13地区調査し結果発表

鳥取看護大

鳥取看護大(倉吉市)表会が25日、同校で開福庭)の学生らが地域住民の健康などについて理解を深める「フィールド体験実習」の発し、その結果をクルー

平成27年度 高校生のための演劇ワークショップ事業
「高校生のための演劇スクール」



エネルギーな高校生たちが
わずか4日間で創り上げる
熱い厚い成果発表公演！

作・演出 畑澤 聖悟

親の 顔 が見 たい

うちの子がいじめをしたなんて、先生、
ホントにそう思っちゃるんですか？



2016年 1月11日（月・祝） とりぎん文化会館 リハーサル室
開場14:15 開演14:30 **入場無料**

【主催】（公財）鳥取県文化振興財団／鳥取県高等学校文化連盟 演劇専門部

公演は14:15開演、14:30開演、入場は開演前30分までとなります。

【お問い合わせ先】とりぎん文化会館 電話0937-21-0700